

SRD-8210ZB

取扱説明書



平成26年5月

製品保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 保証期間内の無料修理は、故障製品を当社までお送り頂き修理完了品又は代替品をお客様に返送することとします。
製品保証書に記載された“製品保証に関するお問い合わせ先”からご案内した宛先まで故障製品を送付して下さい。配送料はお客様負担でお願い致します。
いかなる場合でも商品を発送する際は、かならずお買い求めの販売店にご連絡下さい。
- 保証期間内であっても次の項目に該当する場合は無料修理の範囲外とさせていただきます。
(但し、無料修理の範囲外であっても有料での修理又は代替品への交換・サービスはご利用頂けます。)
 - 1：使用上の誤り、又は不当な修理や改造によって生じた故障及び損傷
 - 2：お買い上げ後の輸送、移動、落下等によって生じた故障及び損傷
 - 3：接続している他の機器によることが起因して生じた故障および損傷
 - 4：火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧等の外部要因によって生じた故障及び損傷
 - 5：読み取りバーコードの状態が著しく劣悪な場合
 - 6：本製品保証書の提示がない場合、本体のシリアル番号ラベルが確認できない場合
 - 7：本製品保証書の所定事項に記入がない場合、又は字句を不当に書き換えられた場合
 - 8：ケーブル類（但し、初期不良は除きます。）
- 初期不良品と認められた場合、同製品または同等品と交換させていただきます。
(返金はできません) お客様から初期不良品を発送していただくときの送料は弊社が負担いたします。
また、商品が不良品でなかった場合は、技術料を頂く場合がございます。
「初期不良」とは、以下の基準を満たしている必要があります。
 - 1：商品到着後7日以内
 - 2：商品の付属品（パッケージ、取説、納品書等書類）がすべてそろっていてなおかつ損傷がないこと
 - 3：お客様による商品の取り扱い不注意で、落下等の不適切な扱いがないこと
 - 4：製品の仕様書に記されている使用条件、または使用上の注意事項等を逸脱して使用されていないこと
- 返品につきましては、未開封の（パッケージ、商品が入っていた袋等）状態の物と初期不良品（不良品については上記「初期不良とは」を参照）のみ、返品可とさせていただきます。
特注品の場合は、不良品以外の返品は一切不可とさせていただきます。
もし、お客様のご要望により、不良品をほかの商品に変更の場合は、変更商品の価格が、変更前の商品より、価格が上の場合のみとさせていただきます。
その際には、価格の差額分をご請求させていただくことになります。
お客様のご都合による返品の場合は、送料、手数料のご負担をお願い致します。
こちらから商品を発送させて頂いた時の送料も、ご負担をお願い致します。
- 修理によって交換された不良部品の所有権は当社に帰属するものとします。
- 本製品保証規定は、本製品についてのみ無料修理をお約束するもので、本製品の故障又は使用によるその他の損害については、当社はその責を一切負わないものとします。
- 本保証は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 本保証の規定内容は予告無く変更する場合がございます。

このマニュアルは予告なしに変更されることがあります。

＜製品に関するお問い合わせ先＞

株式会社エス・アール

〒486-0821 愛知県春日井市神領町2丁目23番地12 名藤ビル2階

TEL：0568-85-9939 FAX：0568-84-1755

営業時間 10:00～12:00 13:00～17:00（土、日、祝を除く）

重要

本装置を使用する前に、必ず本取扱説明書をお読み頂き
内容を十分に理解したうえで使用してください。

注意事項

- ・光源を目に当てたり見つめたりしないでください。
- ・幼児の手の届かない場所をご利用ください。
- ・バーコードの設定以外で使用しないでください。
- ・弊社の許可なく、改造・分解・修理を行わないでください。
- ・医療機器・原子力設備など人命に関わる機器として使用しないでください。
- ・日本語取扱説明書に記載のない環境で使用しないでください。

安全に正しくご使用いただくために

- ・ケーブルの着脱時は、必ず本機に接続している機器の電源を切ってください。
- ・本機を分解改造しないでください。
- ・ケーブル類はできるだけ高圧線や動力源から離してご使用ください。
ノイズや故障等の原因になります。
- ・ケーブルを持って、持ち運ばないようにしてください。
なお、保証期間中であっても、初期不良以外ケーブルは全て有償扱いとなります。
- ・本機の受光部に、水・油・ホコリなどを付着させないでください。
- ・本機は精密機械ですので、落下させた場合破損する恐れがあります。
持ち運びや設定の際はご注意ください。

目次

コードタイプ別初期設定一覧	1
設定方法	2
1.初期設定	3
2.機能設定	4
大文字・小文字設定	
照射光設定	
3.読取設定	5
トリガーモード設定	
4.単一 バーコード有効設定	6
5.読込バーコードの有効設定	10
6.UPC-A	8
7.UPC-E	10
8.EAN-13 & EAN-8	12
9.Code-39	16
10.Codabar	18
11.Interleaved 2 of 5	24
& Industrial 2 of 5	
12.Code-128 & GS1-128	26
13.プリフィックス・サフィックス	24
プリフィックス設定	
サフィックス設定	
挿入文字 一覧	
挿入コマンドのタイプ選択	
挿入コマンド 一覧	
挿入 コードID	



設定開始

コードタイプ別初期設定一覧

	読取設定	コード I D
Interleaved 2of5	有効	N
Code39	有効	V
Code128	有効	T
Codabar (NW7)	有効	R
UPC-A	有効	C
UPC-E	有効	D
EAN-13	有効	B
EAN-8	有効	A
DataBar (RSS-14)	無効	y
Data Matrix	有効	t
Maxi Code	有効	v
PDF 417	有効	r
QR コード	有効	u

※ コード I D をデータに付加させるには、プリフィックスまたはサフィックスの設定で行います。
(P 21 参照)



設定終了



設定開始

設定方法

本製品は本製品説明書の設定バーコードを読み込み、動作の設定を変更することができます。

設定の変更を行うには、下記の順に上からバーコードを読み込みます。

設定開始バーコード



設定バーコード (1)



設定バーコード (2)



設定終了バーコード

※ 設定バーコード (2) は必要な場合のみ読み込みます。

設定開始、設定終了のバーコードは各ページ上下部にあります。

また、各項目右横の初期値：【】は、出荷時の設定です。



設定終了



設定開始

Chapter.1 初期設定

弊社のバーコードスキャナーは、下記の設定をして出荷しています。

出荷時の設定に戻されたい場合は下記の二次元コードを読み込んでください。

また、何らかの要因でスキャナに不調があった場合、まずは初期設定にもどして動作確認を行ってください。

初期設定コード

(インターフェース : U S B - H I D)



※ このコードは、設定開始・設定終了のコードを必要としません。



設定終了



設定開始

Chapter.2 機能設定

大文字・小文字 設定

初期値：【変更なし】



変更なし

※例)



大文字



小文字



変更有り

テストコード：AbCd	
変更なし	AbCd
大文字	ABCD
小文字	abcd
変更有り	aBcD

照射光 設定

初期値：【照射光有効】



照射光有効



照射光無効



トリガーによる照射光 ON

<< 備考 >>

照射光 = 赤い光 / 焦点光 = 緑の光

この設定では、照射光のみ無効にできます。

読込範囲の反射が激しい場合は、照射光を無効にしてください。



設定終了



設定開始

Chapter.3 読取設定

読取設定 (トリガーモード設定)

バーコードの読み込み方法を設定します。

初期値：【トリガーON/OFF】



トリガーON/OFF



検査モード



連続読取



トリガーで動作



オートスキャン

検査モード	数秒おきに光が照射する。
連続読取	オートスキャン機能。
トリガーで動作	トリガーで動作。
オートスキャン	スタンドを付けてバーコードを検知する。



設定終了



設定開始

Chapter.4 単一 バーコード有効設定

- この章の設定で、読み込みたいバーコードの種類を選択することができます。
例えば、“Code-39 のみ読込”を選択した場合、他のコードは読めなくなります。
- 読み込みたいバーコードのみを選択すると以下のようにメリットがあります。
 - ・ より早い読込
 - ・ 読み込みたくないバーコードの誤った読み込みの防止

すべての UPC と ENA コードのみ読込	
UPC のみ読込	
UPC+ Addon-2 のみ読込	
UPC+Addon-5 のみ読込	
EAN のみ読込	
EAN+ Addon-2 のみ読込	



設定終了



設定開始

EAN+Addon-5 のみ読込	
Code-39 のみ読込	
Codabar のみ読込	
Industrial 2 of 5 のみ読込	
Interleaved 2 of 5 のみ読込	
Matrix 2 of 5 のみ読込	
IATA のみ読込	
MSI/Plessey のみ読込	
Code-128 のみ読込	



設定終了



設定開始

GS1 DataBar のみ読込	
GS1 DataBar Limited のみ読込	
GS1DataBar Expanded のみ読込	
DataMatrix ECC200 のみ読込	
QR コードのみ読込	
Micro QR コードのみ読込	
Maxicode のみ読込	
PDF417 のみ読込	
MicroPDF417 のみ読込	



設定終了



設定開始

すべての一次元コードのみ読込	
すべての二次元コードのみ読込	
すべてのコードを読込	



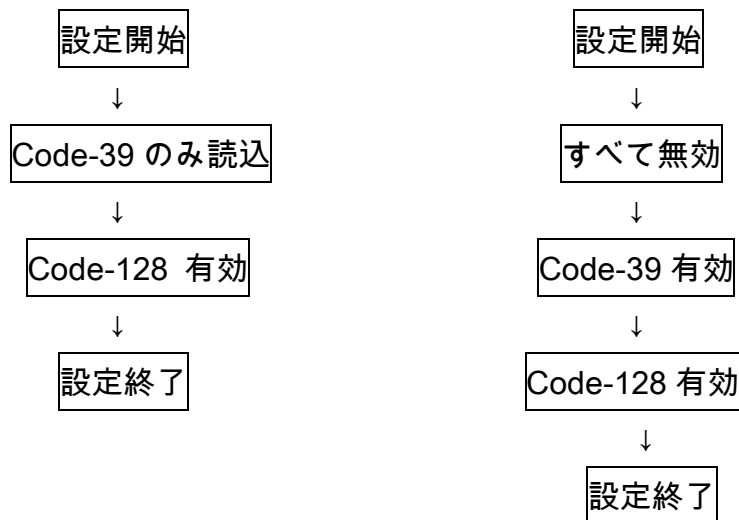
設定終了



設定開始

Chapter.5 読込バーコードの有効設定

- この設定で、複数の種類のバーコードを読込有効設定にできます。
また、読込有効にしたいバーコードの種類を追加できます。
- （例）“Code-39”と“Code-128”のみを読み込みたい場合。
以下の2つの設定方法があります。



※ 【】 が初期状態の設定です。

【UPC 有効】	
UPC+Addon-2 有効	
UPC+Addon-5 有効	



設定終了



設定開始

※ 【 】 が初期状態の設定です。

【EAN 有効】	
EAN+Addon-2 有効	
EAN+Addon-5 有効	
【Code-39 有効】	
【Codabar 有効】	
【Industrial 2 of 5 有効】	
【Interleaved 2 of 5 有効】	
Matrix 2 of 5 有効	



設定終了



設定開始

※ 【】 が初期状態の設定です。

【IATA 有効】	
【MSI/Plessey 有効】	
【Code-128 有効】	
GS1-Databar 有効	
GS1-Databar Limited 有効	
GS1-Databar Expanded 有効	
【DataMatrix ECC200 有効】	



設定終了



設定開始

※ 【 】 が初期状態の設定です。

【QR コード有効】	
【MicroQR コード有効】	
【Maxicode 有効】	
【PDF417 有効】	
【MicroPDF417 有効】	
すべての 1 次元コード有効	
すべての 2 次元コード有効	
全て無効	



設定終了



設定開始

Chapter.6 UPC-A

先頭 0 とチェック文字転送

初期設定：【先頭 0 無し、チェック文字転送有り】



先頭 0 無し、チェック文字転送有り



先頭 0 無し、チェック文字転送無し



先頭 0 有り、チェック文字転送有り



先頭 0 有り、チェック文字転送無し



設定終了



設定開始

Chapter.7 UPC-E

先頭 0 とチェック文字転送

初期設定：【先頭 0 無し、チェック文字転送有り】



先頭 0 無し、チェック文字転送有り



先頭 0 無し、チェック文字転送無し



先頭 0 有り、チェック文字転送有り



先頭 0 有り、チェック文字転送無し

UPC-A 変換

初期設定：【無効】



無効



有効



設定終了



設定開始

Chapter. 8 EAN-13 & EAN-8

EAN-13 チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

EAN-8 チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

ISBN 転送

初期値：【無効】



有効



無効

ISSN 転送

初期値：【無効】



有効



無効



設定終了



設定開始

Chapter. 9 Code-39

Code-39 フォーマット設定

初期値：【ノーマル Code-39】



ノーマル Code-39



Full ASCII Code-39

チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

スタート・ストップ文字転送

初期値：【無効】



有効



無効



設定終了



設定開始

Chapter.10 Codabar

チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効

スタート・ストップ文字転送

初期値：【無効】



無効



スタート・ストップ文字 ABCD/ABCD



スタート・ストップ文字 abcd/abcd



スタート・ストップ文字 ABCD/TN*E



スタート・ストップ文字 abcd/tn*e



設定終了



設定開始

Chapter.11 Interleaved 2 of 5 & Industrial 2 of 5

チェック文字検査

初期値：【無効】



有効



無効

チェック文字転送

初期値：【有効】



有効



無効



設定終了



設定開始

Chapter.12 Code-128 & GS1-128

GS1-128 有効設定

初期値：【無効】



GS1-128 のみ読込



GS1-128 も有効



無効



設定終了

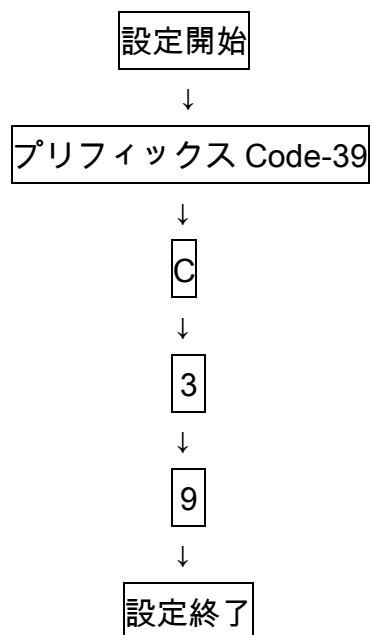


設定開始

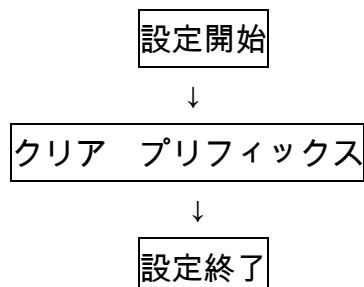
Chapter.13 プリフィックス・サフィックス

- プリフィックスではバーコードデータの頭に文字を挿入します。
- サフィックスではバーコードデータの後ろに文字を挿入します。
- プリフィックス・サフィックスそれぞれ最大4つまで挿入することができます。

- (設定例): Code-39 バーコードの頭に“ C39 ”の3文字を挿入したい場合。



- (設定例): 設定したプリフィックスを一括消去したい場合。



設定終了



設定開始

プリフィックス設定 バーコード種類の指定

すべてのコードにプリフィックス挿入	
UPC-A	
UPC-E	
EAN-13	
EAN-8	
Code-39	
Codabar	
Industrial 2 of 5	
Interleaved 2 of 5	



設定終了



設定開始

プリフィックス設定 バーコード種類の指定

Code-128	
GS1-Databar	
DataMatrix	
QR Code	
MicroPDF417	
Maxicode	
クリア プリフィックス	



設定終了



設定開始

サフィックス設定 バーコード種類の指定

すべてのコードにサフィックス挿入	
UPC-A	
UPC-E	
EAN-13	
EAN-8	
Code-39	
Codabar	
Industrial 2 of 5	
Interleaved 2 of 5	






設定終了



設定開始

サフィックス設定 各バーコードの種類

Code-128	
GS1-Databar	
DataMatrix	
QR Code	
MicroPDF417	
Maxicode	
クリア プレフィックス	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

!	
“	
#	
\$	
%	
&	
‘	
(
)	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

*	
+	
,	
-	
.	
/	
:	
;	
<	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

=	
>	
?	
@	
[
\	
]	
^	
—	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

、	
{	
	
}	
~	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

9	
A	
B	
C	
D	
E	
F	
G	
H	




設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	
Q	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

a	
b	
c	
d	
e	
f	
g	
h	
i	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

j	
k	
l	
m	
n	
o	
p	
q	
r	



設定終了



設定開始

挿入文字 一覧

s	
t	
u	
v	
w	
x	
y	
z	



設定終了



設定開始

挿入コマンドのタイプ選択

次頁からの挿入コマンドを Type 1 / Type 2 の2種類から選択できます。



Type 1



Type 2

※ このコードは 設定開始 ・ 設定終了 を必要としません












設定終了



設定開始

挿入コマンド 一覧 (タイプを選択はP37を参照してください)

Type 1	Type 2	
^@ (NULL)		
^A (SOH)	Insert	
^B (STX)	Delete	
^C (ETX)	Home	
^D (EOT)	End	
^E (ENQ)	Up	
^F (ACK)	Down	
^G (BEL)	Left	
^H (BS)	Backspace	



設定終了



設定開始

挿入コマンド 一覧 (タイプを選択はP 37 を参照してください)

Type 1	Type 2	
^I (HT)	TAB	
^J (LF)	LF	
^K (VT)	Right	
^L (FF)	PageUp	
^M (CR)	Enter	
^N (SO)	PageDown	
^O (SI)		
^P (DLE)		
^Q (DC1)	F1	



設定終了



設定開始

挿入コマンド 一覧 (タイプを選択はP 37 を参照してください)

Type 1	Type 2	
^R (DC2)	F2	
^S (DC3)	F3	
^T (DC4)	F4	
^U (NAK)	F5	
^V (SYN)	F6	
^W (ETB)	F7	
^X (CAN)	F8	
^Y (EM)	F9	
^Z (SUB)	F10	



設定終了



設定開始

挿入コマンド 一覧 (タイプを選択はP 37 を参照してください)

Type 1	Type 2	
^[(ESC)	F11	
^\\ (FS)	F12	
^] (GS)	ESC	
^^ (RS)	Right ALT	
^_ (US)	Enter key on Num keypad	




設定終了



設定開始

挿入 コード I D

コード I D	
---------	--



設定終了